

例会交流室 担当副理事長 大西 清悟		
現状分析	全国的に会員の在籍年数が短期化し、経験の浅いメンバーが半数を占める LOM が増加しています。和歌山青年会議所も例外ではなく、これまで積み上げてきた歴史を基盤に、新たな時代の変化に柔軟に対応できる組織への変化が求められています。また、急速に進む技術革新や社会構造の変化に応え、地域から必要とされる JC の存在は、今後ますます不可欠となります。	
運動の目的	① 実践的な経験を通じて、多角的な視点と柔軟な発想を養う。 ② 会員一人ひとりの成長を支える学びと交流の機会を創出する。 ③ まちの魅力を再発見し、地域に貢献する意識を高める。	
事業計画	4	心が通じ合う交流の機会を創出する
	民間外交としての国際交流事業の実施 姉妹 JC との国際交流を通じて、異文化への理解を深め、地域と世界をつなぐ「民間外交」の意義を学びます。	
	KGI	先入観を超えて多様な価値観を受け入れられるようになる。
	KPI	① 姉妹 JC メンバーとの交流を実施し、握手・記念撮影を行う。 ② メンバーの 70%以上が交流事業に参加する。
	パートナー	姉妹 JC メンバー、特別会員
	5	アップデートする学びの機会を創出する
	・ 5 月度例会の実施 和歌山市の魅力への理解を深めるために、例会として実施。地域の強みや可能性を共有し、会員全体の意識を一つにまとめます。	
	KGI	新たなまちの魅力に誇りと期待を持てるようになる。
	KPI	① 魅力となるアピールポイントを 5 つ以上明確にする。 ② 全メンバーの 80%以上に共有する。 ③ 例会出席率 100%を目指す。
	パートナー	行政、地域事業者、OB 会員
	・ 公開例会の実施 和歌山市の魅力をブランディングするために、公開例会を実施することで、まちを想う連携の輪が広がります。	
	KGI	まちの魅力の活用方法が決まる
	KPI	— 3 パターン以上の魅力の活用例を提示する — 対外・対内アンケートを 100 人以上から回収する — 例会へ 100 人以上が出席する
	パートナー	行政、生産者、製造者等、専門家、市民
	・ 10 月度例会の実施 多様な魅力を広く発信するために実施。専門家の意見を取り入れ、発信の質と効果を高めます。	
	KGI	地域の魅力を実際に発信できる仕組みを構築する。
	KPI	— 専門家 1 名以上からアドバイスを受ける。 — 例会へ人以 80 人以上が出席する（対内・対外の割合を明示）

	パートナー	生産者、製造者等、専門家、市民
チームワーク	① 合同委員会を実施し、委員会間の交流と連携を深める。 ② 室が実施する各事業に、室メンバーの 80%以上が参加する。 ③ メンバーが汗をかき、主体的に動けるチーム体制をつくる。	